

2022年1月25日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

## フクシマガリレイ 岡山工場 100%再エネ電力工場に

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長 福島 裕、資本金 27 億 6000 万円、従業員：1715 名、業務用冷凍冷蔵庫製造)は、業務用冷蔵庫を製造する岡山工場（第一工場・第二工場）に自家消費型太陽光発電設備を導入し、2022 年 1 月 31 日より稼働を開始します。また岡山工場で購入する電力を全て再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、100%再エネ電力工場となりました。

岡山工場は電力調達を見直し、2022 年 1 月 1 日から中国電力の CO2 フリー電力に全量転換しました。これにより、岡山工場の 2022 年度の CO2 排出量は 20 年度 1814t に対して 1311t 削減され 503 t / 年となり、2013 年比で 86.8%減になる見込みです。電力由来の CO2 排出はゼロとなり、当社の業務用冷凍冷蔵庫の生産・研究開発活動はすべて CO2 フリー電力で行います。



岡山第二工場完成写真



岡山第一工場完成写真

ガリレイグループでは、創業 100 周年となる 2051 年を見据えてサステイナブルビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、2050 年までに食品の生産からテーブルに並ぶまで温室効果ガスの排出を実質ゼロとすることに挑戦します。まずは、2030 年までの環境アクションとして、グループ全体で CO2 排出量 50%削減（2013 年度比）を目指しています。環境先進企業として、ステークホルダーからの期待、社会に対して果たす責任を達成するため、自社の CO2 排出量削減に取り組みます。

## ■岡山工場（第一工場・第二工場）自家消費型太陽光発電設備概要

岡山第一工場に出力 0.8MW、岡山第二工場に 0.4MW の太陽光発電設備を設置し、両工場を合わせた年間想定発電量は約 1,400 千 kWh を計画しています。これは両工場で年間使用される電力の約 34% に相当し、約 448t の CO2 排出削減に相当します。

## 環境ビジョン『Dramatic Future2050』

ガリレイグループでは、創業 100 周年となる 2051 年を見据えて環境長期ビジョン「Dramatic Future 2050」を策定し、温室効果ガスの排出量実質ゼロに挑戦します。

まずは、2030 年までの SDGs「13.気候変動に具体的な対策を」への取り組みを柱とし、環境先進企業として、ステークホルダーからの期待、社会に対して果たす責任を達成するため「環境アクション 2030」を策定しました。更に持続可能な地球環境を次世代に引き渡すことを目的に、2050 年までの「カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」に向け、「環境ビジョン 2050」を掲げました。

詳細はこちらのリリースをご確認ください。

<https://www.galilei.co.jp/info/1951/>

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：営業戦略部 営業企画課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2031 FAX：06-6477-0025

URL：https://www.galilei.co.jp/